

第4次 旭市定住自立圏共生ビジョン

計画期間 令和7年度～令和11年度



令和7年3月
千葉県 旭市

目 次

1. 定住自立圏及び市町村の名称と位置	1
2. 圏域の現状と課題	1
(1) 圏域の現状	1
(2) 域内の目指すべき将来の方向	4
3. 圏域の将来都市像	5
4. 定住自立圏共生ビジョンの体系図・期間	6
5. 定住自立圏形成方針に基づき推進する具体的取組 . . .	7
I.生活機能の強化のための取組	
(1) 医療・福祉	7
(2) 教育	11
(3) 産業振興	13
II.結びつきやネットワークの強化のための取組	
(1) 地域公共交通・交通インフラ	18
(2) 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消 .	20
(3) 地域内外の住民との交流・移住推進	21
(4) 都市機能強化	30
III.圏域マネジメント能力の強化のための取組	
(1) 人材の育成・交流	31
6. 第3次共生ビジョン事業一覧	35

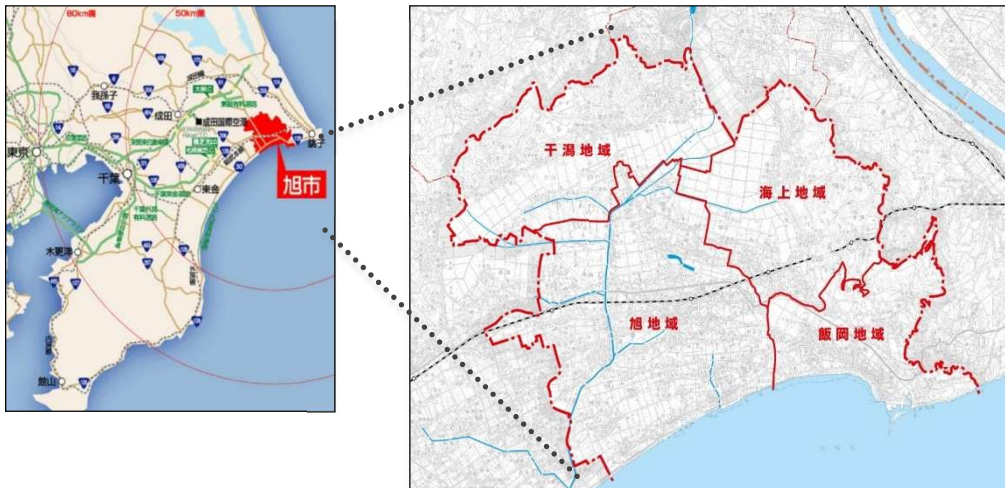
1. 定住自立圏及び市町村の名称と位置

・定住自立圏の名称

旭市定住自立圏

・定住自立圏を形成する市町村の名称と位置

千葉県旭市（旭地域、海上地域、飯岡地域、千潟地域）



2. 圏域の現状と課題

(1) 圏域の現状

【圏域の概況】

当圏域は千葉県の北東部に位置し、千葉市から50km圏、東京都心から80km圏、また、成田国際空港からは25km圏に位置しています。南部は美しい弓状の九十九里浜に面し、北部には千潟八万石と呼ばれる房総半島屈指の穀倉地帯となだらかな丘陵地帯である北総台地が広がっています。

圏域を構成する旭地域(旧旭市)、海上地域(旧海上町)、飯岡地域(旧飯岡町)、千潟地域(旧千潟町)は、平成17年7月1日に広域合併しましたが、この旧1市3町は合併以前より地理的・歴史的にも、また、経済・文化・生活の面でも深い結びつきを有してきました。

地理的には、九十九里浜の海浜や緑豊かな田園景観と北総台地など、恵まれた自然環境を基盤としてきました。交通面では、圏域を横断する国道126号を中心に、県道、東総広域農道等が道路網の骨格をなし、日常生活圏として一体化しています。都市施設は、医療・福祉、商業、文化等の各種施設が圏域内

に集積しています。

広域行政の取組としては、一部事務組合による病院・消防・ゴミ処理など、住民生活の安全・安心に関する事業の連携強化と一体的な進行を図ってきました。

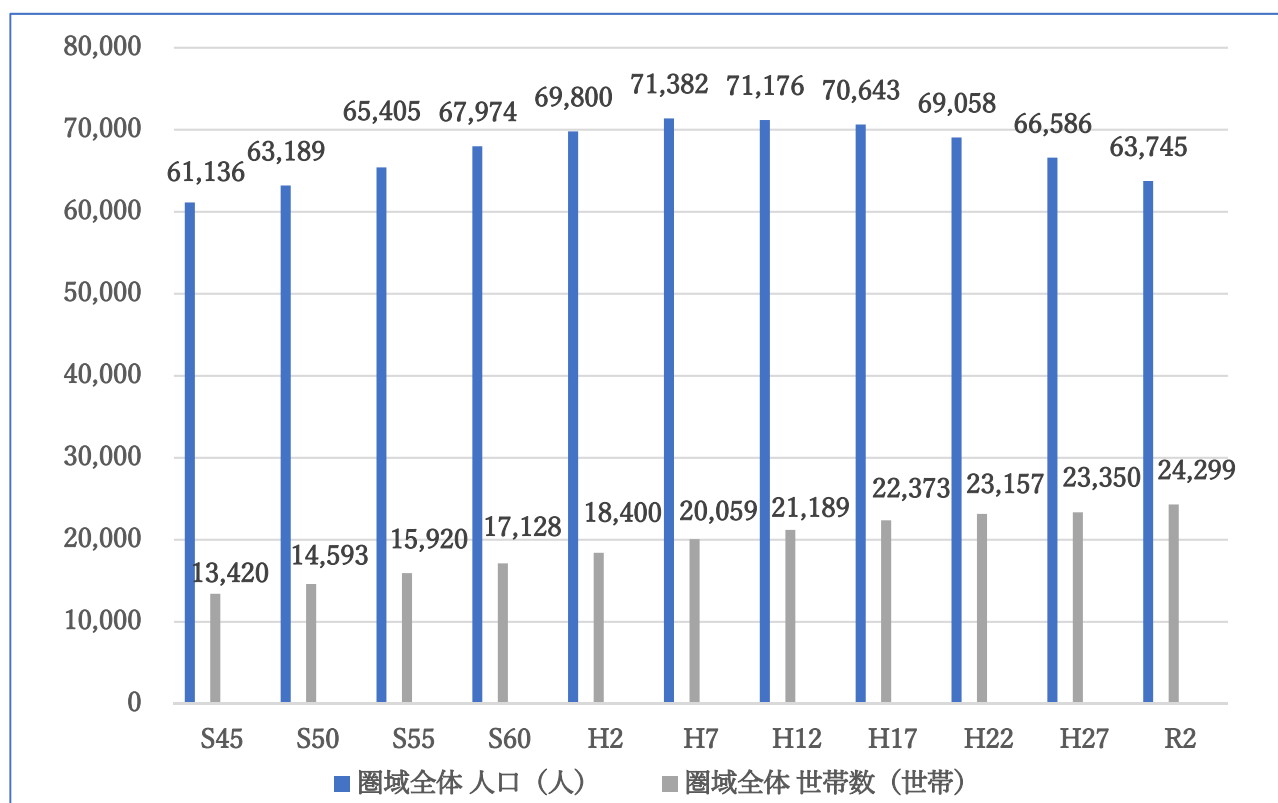
特に旭中央病院は、全国的にもトップクラスの評価を得ており、圏域はもとより隣接地域、県内外を含めて診療圏人口 90 万人を擁しています。

合併後は、圏域の均衡ある発展に取り組んできたところですが、20 年が経過し、少子高齢化対策や雇用確保が喫緊の課題となっていることを踏まえ、各地域の連携をさらに強化し、一体感の醸成を進め、圏域の活性化を図る必要があります。

【圏域の人口・世帯】

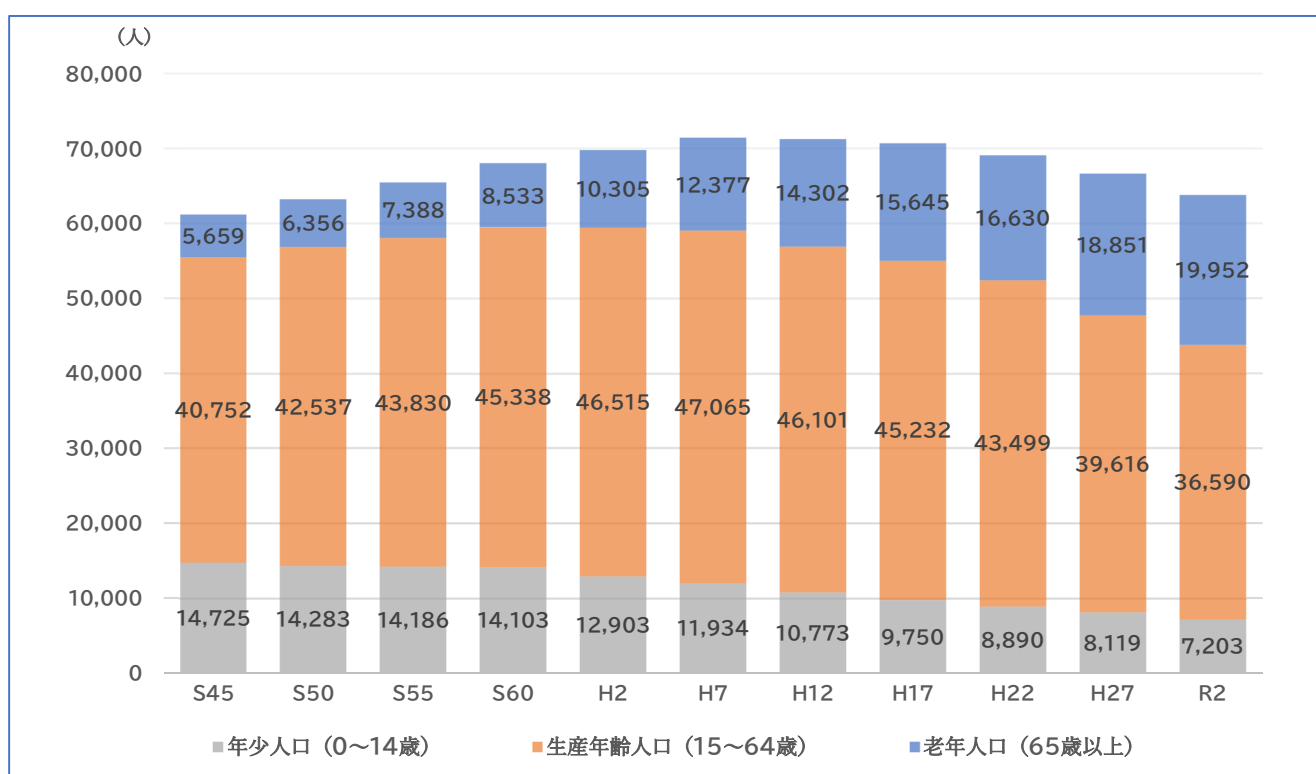
当圏域の人口は、平成 7 年（1995 年）の 71,382 人をピークに減少を続け、令和 2 年（2020 年）は 63,745 人と、昭和 50 年（1975 年）とほぼ同程度となっています。

一方で、世帯数の推移をみると一貫して増加傾向にあり、世帯の小規模化が進んでいます。



【圏域の年齢3階層別人口】

当圏域の年齢3階層別人口は、出生数の減少や平均寿命の延伸により、少子高齢化が長期的に続いています。年少人口（0～14歳）は、S45(1970年)の14,725人から、R2(2020年)には7,203人となり、約7,500人減少し、生産年齢人口（15～64歳）も、約4,100人減少しています。一方で、老年人口（65歳以上）は、S45(1970年)の5,659人から、R2（2020年）には19,952人となり、約14,000人増加しています。



（２）圏域の目指すべき将来の方向

将来人口の目標について、人口の最新データ（令和２年国勢調査）を基準に時点修正を行ったところ、このように人口の見通しについては厳しい状況にあります。令和４２年（２０６０年）時点で４５,０４８人の推計人口に対し、今後も子育て支援や女性活躍に積極的に取り組むとともに、健康や医療を核としたまちづくりを進めることで、第３期総合戦略の人口ビジョンと同様に引き続き、第１期人口ビジョンで掲げた目標人口４８,０００人の達成を目指すものとします。

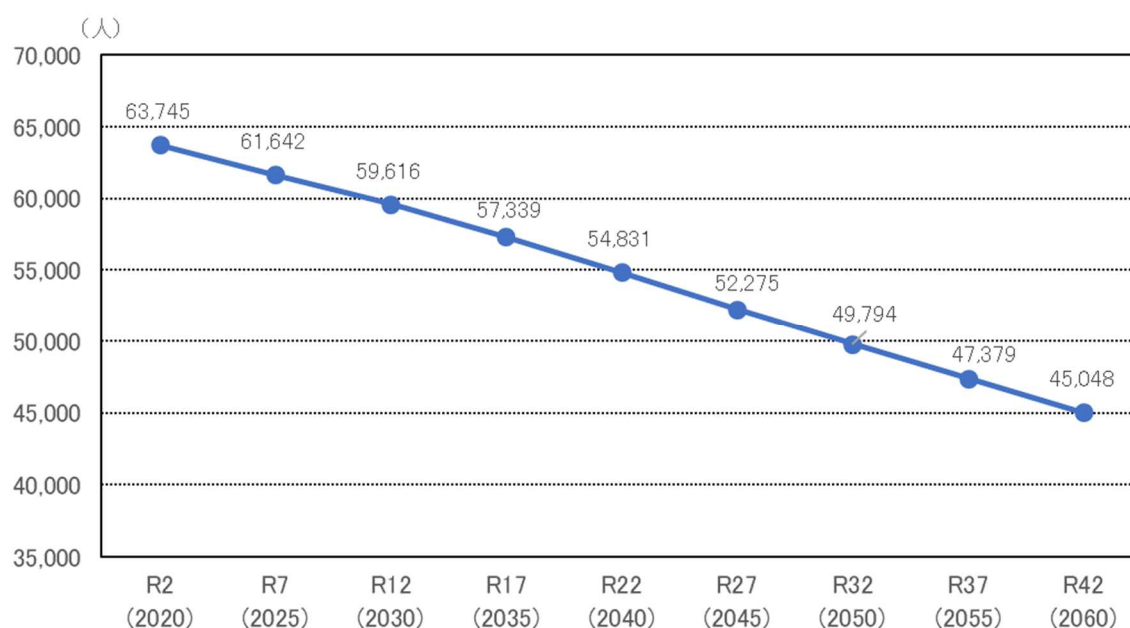
あわせて、令和４２年（２０６０年）の将来人口という長期目標を達成するためには、目標達成に向けた取組の効果検証と見直しを定期的に行う必要があることから、短期目標も設定することとします。具体的には、本計画期間（令和７年度～令和１１年度）終了後の令和１２年（２０３０年）時点で、５９,６１６人の推計人口に対し、目標人口６０,０００人を目指すこととし、同年に実施予定の国勢調査の結果で確認することとします。

市をあげて目指す「将来人口のチャレンジ目標」

短期目標 令和１２年（２０３０年） ６０,０００人

長期目標 令和４２年（２０６０年） ４８,０００人

◆総人口の推計



3. 圏域の将来都市像

「みんなで創る未来

ず〜っと大好きなまち旭」

～ 健康で心豊かな暮らし“ウェルビーイング”^{注1}の向上 ～

将来都市像は、市の将来のあるべき姿であり、市民みんなで共有し、目指すまちづくりの共通目標です。

将来に向けて持続可能な“まち”を実現していくためには、本市で暮らし、働き、あるいは学び、活躍する市民の誰もが、将来にわたり「ず〜っと大好き」で「住み続けたい」と思えるまちづくり、さまざまな理由で本市を離れても「いつかは帰ってきたい」と思えるまちづくりの視点が重要です。

これからは、人口減少と環境問題への対応といった厳しい状況が続くなか、「ず〜っと大好きなまち旭」という未来を、市の魅力（宝）を活かしながら、市民みんなの力で創り上げていくことがとても重要になってきます。そして市民一人ひとりが、市の魅力を認識し、地域課題の解決を自分ごととして捉え、まちづくりに積極的に参加することで、市への愛着心と誇り「シビックプライド^{注2}」を育むことができます。

そして何より重要なことは、市民一人ひとりが心身ともに健康で、まちづくりの思いや能力を十分に発揮できる、健康で心豊かな暮らし“ウェルビーイング”を向上させることです。

こうしたことから、合併1市圏域型の旭市定住自立圏では、基本的にこの将来都市像を踏まえつつ、中心地域と近隣地域がそれぞれの地域の特色に基づき、暮らしに必要な諸機能を「集約とネットワーク」により圏域全体で確保するとともに、引き続き「自立」、「共生」、「協働」、「共創」による地域活性化を図っていくことが重要になります。また、旭市総合戦略と連携・補完し、様々な施策を推進していくことで、さらに効果的なものとし、圏域全体としての魅力を高めていきます。

注1：ウェルビーイング（Well-being）：世界保健機関（WHO）憲章では、ウェルビーイングを「健康とは、単に疾病がない状態ということではなく、肉体的、精神的、そして社会的に、完全に満たされた状態にある」という趣旨で用いている。

注2：シビックプライド：「地域への誇りと愛着」を表す言葉で、自分たちの住むまちをよりよく、より誇れるまちにしていこうという市民の“思い”を指している。

4. 定住自立圏共生ビジョンの体系図・期間

旭市定住自立圏は、「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」を下の図の取組によって進めていきます。

なお、期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とし、必要に応じて所要の見直しを行うものとします。

将来都市像

みんなで創る未来
ずっと大好きなまち旭

健康で心豊かな暮らし
ウェルビーイング“の向上”

視点	政策分野	形成方針
Ⅰ 生活機能の強化	(1)医療・福祉	①旭中央病院を核とした地域医療・福祉の充実と健康・安全のまちづくり
	(2)教育	①市民の地域学習支援
	(3)産業振興	①地域資源の再評価と観光振興 ②農水商工連携による地域特産品開発 ③空き店舗利用などによる中心市街地活性化 ④工業団地等への優良企業誘致
Ⅱ 結びつきやネットワークの強化	(1)地域公共交通 交通インフラ	①交通道路網の改善 ②公共交通ネットワークの拡充
	(2)地産地消	①地場産品の地域内PR・販売
	(3)交流・移住推進	①市内周縁部における交流事業の推進 ②観光資源の編集 ③都市圏における販売・PRイベント、PR機能設置 ④地域内交流の促進、コミュニティカの育成
	(4)都市機能強化	①中心都市機能強化及び賑わいの確保
Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化	(1)人材育成・交流	①地域の達人を中心とする異業種間交流の推進 ②市民活動支援の拡充 ③視察、研修、交流等による能力育成

デジタル技術による地域課題解決

5. 定住自立圏形成方針に基づき推進する具体的取組

I 生活機能の強化

(1) 医療・福祉

①旭中央病院を核とした地域医療・福祉の充実と健康・安全のまちづくり

東総地域の中核病院である旭中央病院及び周辺の福祉関連施設一帯を医療・福祉拠点として位置づけ、「健康都市」を支える医療・福祉サービスの充実を目指し、設備や機能のさらなる充実、周辺の診療所等との連携の促進、利用しやすい交通アクセスの検討等を進める。

事業名	(1) 子育て世帯への経済的支援（乳幼児紙おむつ給付事業ほか2）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	子育て世帯への経済的負担を軽減し、出生率の向上を図ります。具体的には、1年以上本市に住民登録があり居住している人で、第1子以上を養育し、第2子以上出産して養育する父母に対し、2子に10万円、3子以降に20万円を支給する出産祝金の支給、0歳から高校生等までの児童・生徒の医療保険適用の医療費の助成や、0歳児、1歳児の乳幼児を養育している人への紙おむつ購入券の支給を行います。					
活用を想定する補助制度等	子ども医療費対策事業補助金(県:1/2)					
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	306,808	306,808	306,808	306,808	306,808	1,534,040
重要業績 評価指標 (KPI)	市民アンケートで「子育て支援」に満足（満足＋やや満足）と回答した人の割合		基準値の年度		基準値	目標値 (R11年度)
			R5年度		56.5%	70.0%
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・旭、海上、飯岡、干潟地域 旭中央病院や、小児科医療機関等において、チラシ等を配付し、制度の周知を図っていく。					

事業名	(2) 生涯活躍のまち推進（生涯活躍のまち推進事業）					
実施地域	旭地域					
事業概要	旭中央病院から連携拠点である道の駅季楽里あさひを一体的に捉えて構想エリアとし、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致と若年世代の流出抑制と流入促進、及び仕事づくりを実現させ、本市全体の活性化につなげるための拠点として、「新しいまちづくり」を行う。 「旭市にしかない、旭市ならではの“魅力とライフスタイル”の創出・提供」を構想コンセプトとして、旭中央病院を核とした医療・介護と農業の連携により、日本一の安心と生きがいのある暮らしを提供する「持続可能な多世代交流拠点」や多世代・多機能が混在し、ともに支え、触発し合う「安心・生きがい・おもしろ創造空間」を創出し、高齢者だけではなく多様な人々が混在し共生する多世代参加型のまちの形成を目指す。					
活用を想定する補助制度等	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)（国：1/2）					
事業費 （千円）	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	121,435	121,435	121,435	121,435	121,435	607,175
重要業績評価指標（KPI）	おひさまテラス 入館者数		基準値の年度		基準値	目標値 （R11年度）
			R5年度		18万人	20万人
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・旭、海上、飯岡、千潟地域 構想の拠点として、旭中央病院や道の駅と連携した、防災機能も含めた多機能拠点として推進を図っていく。					



おひさまテラス

事業名	(3) 地域医療機関との連携（地域医療体制整備事業ほか2）					
実施地域	旭、海上、飯岡、千潟地域					
事業概要	地域に密着した医療機関として、市直営の滝郷診療所の施設や機能の充実を図るとともに、周辺の医療機関等との連携の促進、利用しやすい環境を整備します。					
活用を想定する補助制度等	国保調整交付金（直営施設分）基準額の 1/3					
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	31,955	31,955	31,955	31,955	31,955	159,775
重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）	旭中央病院の逆紹介率		基準値の年度		基準値	目標値 （R11 年度）
			R 5 年度		98.2%	99.0%
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・ 旭地域 旭中央病院や他の周辺医療機関等との連携を促進し、利用しやすい環境を整備していく。 ・ 海上地域 医療・福祉サービスを充実させるため、診療所施設の機能・整備を充実させ、地域に密着した医療機関として、医療サービスを提供していく。 ・ 飯岡、千潟地域 周辺医療機関等との連携を促進し、利用しやすい環境を整備していく。					



旭中央病院

事業名	(4) 地域包括ケアシステムの推進（包括的・継続的マネジメント事業）						
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域						
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みを構築し、多職種が互いに連携し、総合的な支援を行います。						
活用を想定する補助制度等	国、県地域支援事業交付金(国:38.5/100、県:19.25/100)						
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計	
	84,107	84,107	84,107	84,107	84,107	420,535	
重要業績 評価指標 (K P I)	多職種連携相談件数		基準値の年度		基準値		目標値 (R11 年度)
			R 5 年度		延べ 6,864 件		延べ 7,800 件
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・旭全域 基幹型地域包括支援センターを設置し、高齢者総合相談及び介護予防事業等を実施すると共に、委託型地域包括支援センターの指導・後方支援や、在宅医療・介護連携、認知症施策、権利擁護事業、生活支援・介護予防重度化防止の取組、地域ケア会議の運営を推進することで、圏域全体を等しくフォローしていく。 地域に密着した、きめ細やかな支援体制の整備として、委託型地域包括支援センターを3か所設置し、また、中央地域包括支援センターは、他のセンターを支援する機能強化型センターとして位置づける。						

I 生活機能の強化

(2) 教育

①市民の地域学習支援

過去から受け継がれてきた自然や歴史・文化資源を守りふるさととして地域の記憶を継承することを目指し、市民による市民のための教育プログラムの検討・実施、食育及び健康教育を推進する施設の設置、ソーシャルビジネスモデル事業の検討など、市民が地域資源を知る機会づくりを進める。

事業名	(5) 図書館及び関連施設の充実（図書館活動費）					
実施地域	旭、海上、飯岡、千潟地域					
事業概要	図書館と公民館図書室間の本の配送サービスを行うこと及び「図書館情報システム」をネットワーク化し、共通の蔵書管理をすることで、公民館図書室においても図書館と同等のサービスを提供する。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	52,636	52,636	52,636	52,636	52,636	2 63,180
重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）	市民一人あたりの 貸出冊数		基準値の年度		基準値	目標値 （R 11 年度）
			R 5 年度		1.7 冊	2.5 冊
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・ 旭地域 市図書館が、ネットワークの核となって運用を行う。 ・ 海上地域 海上公民館にネットワーク端末を設置し運用する。 ・ 飯岡地域 いいおかユートピアセンターにネットワーク端末を設置し運用する。 ・ 千潟地域 ひかた市民センターにネットワーク端末を設置し運用する。					

事業名	(6) 青少年の健全育成の推進（地域子ども教室事業）					
実施地域	旭、海上、飯岡、千潟地域					
事業概要	学校や公民館等を利用し、地域住民などを指導者として、子どもたちの放課後や週末における文化活動、ものづくり活動等の様々な体験活動や地域住民との交流活動を通して、心豊かでたくましい青少年を育てる。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719	8,595
重要業績 評価指標 (K P I)	地域子ども教室参加率		基準値の年度		基準値	目標値 (R11 年度)
			R 5 年度		30.9%	32.0%
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・ 旭、海上、飯岡、千潟地域 情報提供や周知を行うとともに、他地域と連携しながら学習機会の提供を図る。 ・ 旭、海上地域 地域子ども教室の内容等について企画・立案をし、情報提供や周知を行うとともに、他地域と連携しながら学習機会の提供を図る。					

I 生活機能の強化

(3) 産業振興

①地域資源の再評価と観光振興

豊かな食文化、丘陵や海岸の自然、歴史資源等を生かした農林水産業の多角化や新たな観光産業振興など地域の産業の活性化を目指し、それぞれ特異な資源を有する当該圏域の各地域が連携して、情報提供や飲食・販売を行う観光・交流の拠点形成、食文化・農業・漁業の体験ができる仕組み・プログラムづくり、外部へのPR等広告・宣伝活動を促進する。

事業名	(7) 観光情報発信の推進（観光資源創出プロモーション事業ほか1）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	観光産業の振興と地域経済の活性化を目指し、市の豊富な観光資源の魅力を全国に向けてPRするとともに、新たな観光資源の創出と関係団体および旅行者、地元農水産業者等との連携による体験型観光を提案・実施する。併せて、市内で開催される観光イベントを支援することにより、多くの観光客の誘致を実現する。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	35,941	29,930	29,930	29,930	29,930	155,661
重要業績 評価指標 (KPI)	観光入込客数		基準値の年度		基準値	目標値 (R11年)
			R5年		210万人	213万人
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・旭地域 交通を含めた公共機関の集中するエリアであり、集客及び情報発信の強力な拠点施設である「道の駅 季楽里あさひ」があることから、誘客の総合的な窓口機能を果たす。					
	・海上地域 キャンプ場、自然公園、龍福寺等の貴重な自然環境や歴史資産を生かし観光誘致を図る。					
	・飯岡地域 海洋レクリエーション資源・施設等の集約を生かし、旭市の観光の中心としての機能の充実・景観形成を図る。					

・千潟地域

「千潟八万石」と呼ばれる農業基盤を生かした誘客を図るとともに、自然環境を利用し、全国的にも貴重な「ヘラブナ」専門の釣り堀である「長熊釣り堀センター」や、歴史資産としての「大原幽学遺跡史跡公園」を積極的にPRすることで、市の観光の第2の核となるよう施策を図る。



龍福寺



矢指ヶ浦海岸



長熊釣り堀センター

I 生活機能の強化

(3) 産業振興

②農水商工連携による地域の特産品開発

農業者・漁業者・商業者・工業者等が連携して旭の産物を使った特産品の検討・試作品の開発、販売促進・販売ルートの開発、都市圏向けの販売 PR・イベント等を行い、地域イメージの向上を目指す。

事業名	(8) 新たな地域産業の創出（特産品開発事業）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	市の特色を活かした特産品の開発を促進するとともに、「旭市推奨品」として圏域内外に広く情報発信することにより、商品の信頼性と販売・PR等に取り組みながら産業振興を図り、旭市のイメージアップと地域経済の活性化を図る。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	6,800
重要業績 評価指標 (KPI)	旭市推奨品認定数		基準値の年度		基準値	目標値 (R11年度)
			R5年度		56品	64品
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・旭、海上、飯岡、干潟地域 市内に事務所がある法人や、住所がある個人及び団体が、本市の産品を使用した特産品の開発または既存商品の改良を行い、都市圏向けの販売、周知を図り地域のイメージ向上を目指す。					

I 生活機能の強化

(3) 産業振興

③空き店舗利用などによる中心市街地活性化

中心市街地が、歩いて暮らせるコンパクトな市民生活の中心となるよう多様な機能を集約するとともに、旭を訪れる人々との交流機能の拠点として活性化を図るために、空き店舗を利用したイベント・コミュニティ活動、チャレンジショップの誘致・支援などを推進する。

事業名	(9) 商業の振興（空き店舗活用事業）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	空き店舗を利用したイベント・コミュニティ活動の誘致・支援、チャレンジショップ出店の誘致・支援、地元発信型アンテナショップの運営、市民ギャラリー（まちかどギャラリー銀座）の運営等により、中心市街地に多様な機能の集約と人々の交流機能の拠点の構築を図る。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	21,221	21,221	21,221	21,221	21,221	106,105
重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）	商工会会員数		基準値の年度		基準値	目標値 （ R 11 年度 ）
			R 5 年度		1,480 人	1,500 人
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・旭地域 旭駅前・銀座通り商店街等の空き店舗を利用したイベント、コミュニティ活動、チャレンジショップの誘致・支援などを行う。 ・海上、飯岡、干潟地域 イベント・コミュニティ活動の参加者やチャレンジショップの出店者など、人材の支援を行う。また、農水産物など商品等の提供を行う。					

I 生活機能の強化

(3) 産業振興

④工業団地等への優良企業誘致

あさひ新産業パーク（あさひ鎌数工業団地）等への優良企業の誘致を促進し、工業拠点としての充実を図る。

事業名	(10) 企業誘致及び既存企業の支援（事業者のデジタル化支援）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	市内事業者をターゲットにデジタル化への関心を高めるための啓発セミナーを開催するとともに、デジタル化を希望する事業者を対象に、専門家によるデジタル化伴走支援（5社）を段階的に行い、デジタル技術の導入を手厚く支援する。					
活用を想定する補助制度等	新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)（国：1/2）					
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	6,103	5,652	7,104	6,175	2,904	27,938
重要業績 評価指標 （K P I）	デジタル導入企業数		基準値の年度		基準値	目標値 （R 11 年度）
			R 5 年度		-	15 社
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・ 旭地域 工業拠点であるあさひ鎌数工業団地をはじめ、企業のデジタル化により、若者に魅力ある仕事づくり、市内事業者の人手不足解消、業務効率化、経営改善など複合的な効果を見込む。 ・ 海上、飯岡、干潟地域 干潟工業団地内の既存企業などと連携し、企業のデジタル化による、若者に魅力ある仕事づくり、市内事業者の人手不足解消、業務効率化、経営改善など複合的な効果を見込む。					

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(Ⅰ) 地域公共交通・交通インフラ

①交通道路網の改善

地域間連絡の強化を図るとともに、高齢者や障がいのある人が安全で安心して歩けるユニバーサルデザイン、わかりやすい案内標識の設置など道路・駅周辺等の環境改善を目指す。

事業名	(ⅠⅠ) 主要道路の整備、国・県道の整備促進 (飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業ほかⅠ)					
実施地域	海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業 L = 2.54km W = 11.5m 南堀之内バイパス整備事業 L = 1.1 km W = 11.7m 飯岡海上連絡道三川蛇園線及び南堀之内バイパスを整備し、地域間連携の強化を図るとともに、高齢者や障がいのある人が安全で安心して利用できるユニバーサルデザイン、わかりやすい案内標識の設置等の環境改善を図る。					
活用を想定する補助制度等	社会資本整備総合交付金事業（国：1/2）					
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	125,847	-	-	-	-	125,847
重要業績 評価指標 (K P I)	市計画路線の用地取得率		基準値の年度		基準値	目標値 (R11 年度)
			R 5 年度		87%	100%
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・ 旭地域 圏域全体での交通利便性の向上や、歩行者の安全確保、将来の発展等を見据えつつ、事業内容・事業効果・優先順位等を総合的に考慮して計画的に実施する。 ・ 海上、飯岡、干潟地域 事業内容・事業効果・優先順位等を総合的に考慮して計画的に実施する。					

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(Ⅰ) 地域公共交通・交通インフラ

②公共交通ネットワークの拡充

高齢者や障がいのある人など交通弱者への対応や、各地区から中心市街地・公共施設・医療機関への移動手段確保のため、路線の調査・分析を行いながら、コミュニティバスなどにより効率的で利便性の高い公共交通の充実を図る。

事業名	(12) 公共交通の確保（コミュニティバス等運行事業ほか2）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	圏域内で利便性の高い公共交通を構築し、住民の交通手段を確保するため、コミュニティバス、デマンド交通の運行、路線バスの維持対策、公共交通の利用促進策等を行う。また、これらの取り組みの評価、検証を行い、社会動向や需要に応じた対策を講じていくことで、市民にとって利用しやすい持続可能な公共交通を実現する。					
活用を想定する補助制度等	地域公共交通確保維持事業（経費の1/2）※干潟ルートが該当					
事業費 （千円）	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	118,295	118,295	118,295	118,295	118,295	591,475
重要業績 評価指標 （KPI）	公共交通利用者数 （コミュニティバス・ デマンド交通）		基準値の年度		基準値	目標値 （R11年度）
			R5年度		63,000人	67,000人
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・旭地域 圏域全体の拠点として、他地域からの交通と乗り継ぎを行う交通結節点機能の維持、強化を図る。また、すべての路線が中心市街地を経由することにより、ターミナルの機能を果たす。 ・海上、飯岡、干潟地域 地域の実情、ニーズに即した効率的で利用しやすい地域公共交通を確立し、中心市街地・公共施設・医療機関への移動手段の確保を図る。					

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(2) 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

①地場産品の地域内PR・販売

充実した食材に恵まれる旭市において、農水産物直売施設等地元の人が地元の産品を消費できる場を創出し、地元消費者のニーズに的確に応えとともに、旭市の食文化の理解を深めることを目指す。また、地域内流通やコミュニティの促進を図る。

事業名	(13) 観光情報発信の推進（道の駅季楽里あさひ管理費）					
実施地域	旭地域					
事業概要	旭ブランドの発信の拠点として、シティセールスを行うとともに、地産地消の推進、地域ブランドの確立、地域交流、各種体験、観光情報の発信など、地産地消の活性化に資する施設としての事業を推進するため、「道の駅季楽里あさひ」の管理を行う。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 （千円）	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	745	745	745	745	745	3,725
重要業績 評価指標 （KPI）	道の駅「季楽里あさひ」 年間売上額		基準値の年度		基準値	
			R5年度		9億7,724万円	
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】		目標値 （R11年度）				
		11億5千万円				
		・旭地域 域全体での地産地消、産地PR及び情報発信の場として、直売施設等の総合的な管理を行い、消費者ニーズに対応した各種取組の推進を行う。 ・海上、飯岡、千潟地域 旭地域と連携するとともに、各地域の充実した農産物やその他産品を提供する。				

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(3) 地域内外の住民との交流・移住推進

①市内周縁部における交流事業の推進

貴重な自然環境や歴史資産が残る市内緑地系ゾーン等を環境・地域史教育の拠点とし、市内都市部との積極的な交流を図る。

事業名	(14) 文化財の保護（大原幽学遺跡史跡公園の充実）					
実施地域	干潟地域					
事業概要	国指定史跡である大原幽学遺跡を中心とする史跡公園について、文化財の保護と併せ、市民が文化に触れ、憩いの場となるよう維持管理及び整備を行うとともに、情報発信やPR等を行い、地域文化の継承及び圏域内外の住民との交流を推進する。					
活用を想定する補助制度等	文化財保存事業（国:50/100 以内、県:25/100 以内）					
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	8,392	8,392	8,392	8,392	8,392	41,960
重 要 業 績 評 価 指 標 （K P I）	大原幽学記念館の 入館者数		基準値の年度		基準値	目標値 （R11 年度）
			R 5 年度		4,005 人	5,000 人
【地域間の 役割分担に 係る基本的 な考え】	・ 旭、海上、飯岡地域 干潟地域と連携し、圏域内外への情報発信やPR等を行うことにより、地域文化の継承及び交流人口の増加を図る。 ・ 干潟地域 遺跡史跡公園の保存・維持管理を適切に行い、更に整備を進めるとともに、旭、海上、飯岡地域及び関係団体・機関と連携しながら情報発信やPR等を行い、地域文化の継承及び圏域内外の住民との交流を推進する。					

事業名	(15) 交流事業の促進（幽学の里で米づくり交流事業）					
実施地域	干潟地域					
事業概要	圏域外の交流人口の増加を目指し、都市部の生協団体、子ども会、一般参加家族を招き、国指定史跡「幽学の水田」で年4回農業体験（田植え・生き物調査・稲刈り体験・収穫祭）を実施する。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	800	800	800	800	800	4,000
重 要 業 績 評 価 指 標 （ K P I ）	交流人口（しおさいマラソン、ぽるぽろ、幽学の里で米づくり交流）		基準値の年度		基準値	目標値 （R 11 年度）
			R 5 年度		3,020 人	4,080 人
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・ 旭地域 積極的な農業交流を推進するとともに、圏域外に向けた情報発信を行い、交流人口の増加を図る。 ・ 海上、飯岡地域 干潟地域と連携し、積極的な農業交流を推進する。 ・ 干潟地域 農業交流の拠点として、国指定史跡「幽学の水田」で交流事業を実施する。					



幽学の里で米づくり交流

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(3) 地域内外の住民との交流・移住推進

②観光資源の編集

地域資源のデータベース構築やデジタルアーカイブ化及びガイド誌・インターネットを活用した広告・宣伝など観光者向けの情報発信の企画・調査・編集等の推進・支援を行う。

事業名	(16) 広報広聴活動の推進（旭の魅力発信事業ほか1）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	観光PR用ポスターや観光ガイドブック等の作成、ホームページの観光情報のリニューアル、観光のルートやテーマの設定等により、観光客のニーズに即した観光資源情報の発信を行う。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	36,366	36,366	36,366	36,366	36,366	181,830
重要業績 評価指標 (KPI)	市内での映画やテレビの ロケ実施件数		基準値の年度		基準値	目標値 (R11年度)
			R3～5年度 平均		24件	50件
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・旭地域 旭市観光物産協会や「道の駅 季楽里あさひ」と連携し、効果的な観光情報発信を行う。 ・海上地域 旭市観光物産協会と連携し、地域の代表的な観光ポイントである「海上キャンプ場」や「龍福寺」等のPRを積極的に発信する。 ・飯岡地域 旭市の観光の中心である飯岡地域において、観光客が体験できるイベントやアクティビティの情報を効果的に発信する。 ・干潟地域 旭市観光物産協会と連携し、地域の代表的な観光ポイントである「大原幽学遺跡史跡公園」や「長熊釣堀センター」等のPRを積極的に発信する。					

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(3) 地域内外の住民との交流・移住推進

③都市圏における販売・PRイベント、PR機能設置

都市圏において試験的に販売ブース等を設置し、特産品の販売や景観・歴史・文化等各種地域資源のPR・宣伝活動または販売ルートの開発を促進する活動を推進・支援する。

事業名	(13) 観光情報発信の推進（道の駅季楽里あさひ管理費）【再掲】					
実施地域	旭地域					
事業概要	旭ブランドの発信の拠点として、シティセールスを行うとともに、地産地消の推進、地域ブランドの確立、地域交流、各種体験、観光情報の発信など、地産地消の活性化に資する施設としての事業を推進するため、「道の駅季楽里あさひ」の管理を行う。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R7	R8	R9	R10	R11	合計
	745	745	745	745	745	3,725
重要業績 評価指標 (KPI)	道の駅「季楽里あさひ」 年間売上額		基準値の年度		基準値	目標値 (R11年度)
			R5年度		9億7,724万円	11億5千万円
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・旭地域 域全体での地産地消、産地PR及び情報発信の場として、直売施設等の総合的な管理を行い、消費者ニーズに対応した各種取組の推進を行う。 ・海上、飯岡、干潟地域 旭地域と連携するとともに、各地域の充実した農産物やその他製品を提供する。					

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(3) 地域内外の住民との交流・移住推進

④地域内交流の促進、コミュニティカの育成

地域づくりに対して積極的な活動を行っている住民又は参画意志をもった住民が交流・活動できる場を支援し、さらに広く市民による新たな活動・活力を創出する場として市民によるワークショップやフィールド調査等の開催を推進する。

事業名	(17) 農畜産物の生産振興（あさひオータムジャンボリー～産業まつり～）					
実施地域	旭地域					
事業概要	市内で生産、水揚げされる農水産物や工業製品、地場産品などの展示・販売などを通し、本市が誇る地域産業のポテンシャルを再発見するとともに、各産業の担い手と市民が交流することで、地域の誇りや愛着を醸成し、各種産業の振興を図る。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	44,000
重要業績評価 指標（K P I）	産業まつり来場者数		基準値の年度		基準値	目標値 (R 11 年度)
			R 5 年度		15,000 人	16,000 人
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・ 旭地域 産業まつりの開催地として、他地域と連携して企画・運営を総括的に行う。 ・ 海上、飯岡、千潟地域 各地域より産業まつり開催のため出店及び人材の支援を行う。					

事業名	(18) スポーツ活動の充実（スポーツ振興事業）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	だれでも自由に、自ら進んでスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康増進と地域の絆を育むことを目的としたスポーツイベントを開催する。また、地域におけるスポーツ大会の自主的開催に対して支援を行う。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	23,724	23,724	23,724	23,724	23,724	118,620
重要業績 評価指標 (K P I)	スポーツ大会の年間参加者数（あさひスポーツフェスティバル、市民駅伝大会、市民スポーツ大会の参加人数）		基準値の年度		基準値	目標値 (R11 年度)
			R 5 年度		3,711 人	5,000 人
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・ 旭地域 圏域内の地区体育祭、スポーツ大会等の自主的開催について支援を行う。また、他地域と連携して「あさひスポーツフェスティバル」や「旭市民駅伝大会」等の企画・運営を総括的に行う。					
	・ 海上、飯岡地域 地区体育祭、スポーツ大会等の自主的開催を積極的に推進するとともに、「あさひスポーツフェスティバル」や「旭市民駅伝大会」等の参加・運営についての協力を行う。					
	・ 干潟地域 地区体育祭、スポーツ大会等の自主的開催を積極的に推進するとともに、東総運動場を「旭市民駅伝大会」の会場とし、参加・運営についての協力を行う。					

旭市民駅伝大会



事業名	(19) 結婚・子育て環境の整備（ファミリー・サポート・センター事業）					
実施地域	旭、海上、飯岡、千潟地域					
事業概要	乳幼児や小学生等の児童の育児の援助を行いたい者（提供会員）と、育児の援助を受けたい者（利用会員）を会員として組織する旭市ファミリー・サポート・センターを市直営で設置・運営し、児童の預かり等の相互援助活動にかかる連絡や調整管理等を行う。					
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金（国 1/3、県 1/3）					
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	6,090	6,090	6,090	6,090	6,090	30,450
重要業績 評価指標 （K P I）	子育て世代の保育サービス（一時預かり保育、ファミリー・サポート・センター、ハニカム等）の利用者数		基準値の年度		基準値	目標値 （R11 年度）
			R 5 年度		20,229 人	21,000 人
【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・旭地域 主体的に行う育児援助活動の推進を図ることで、仕事と子育てを両立できる環境を整備し、安心して子どもを育てることのできる地域の子育て力を高める。					
	・海上、飯岡、千潟地域 主体的に行う育児援助活動の推進を図り、地域全体で支え、仕事と子育てを両立できる環境を整備し、安心して子どもを育てることのできる地域の子育て力を高める。					

事業名	(20) 結婚・子育て環境の整備（育児支援事業）						
実施地域	旭、海上、飯岡、千潟地域						
事業概要	両親学級や子育て学級、発達相談等、安心して育児に取り組めるよう、相談支援体制を整えるとともに、同じ悩みや不安を抱える親子が交流でき、育児の仲間づくりを支援し、子育ての悩みや不安の軽減を図る。						
活用を想定する補助制度等							
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計	
	8,410	8,410	8,410	8,410	8,410	42,050	
重要業績評価 指標（K P I）	年間婚姻数（届出数）		基準値の年度		基準値		目標値 (R 11 年)
			R 5 年		191 件		300 件
【地域間の役割 分担に係る基本的な 考え】	・ 旭、海上、飯岡、千潟地域 拠点である保健センターにおいて、各種学級、相談を実施し、事業参加を通して保護者同士の交流を促進し、育児の仲間づくりを支援する。						

事業名	(21) 移住・定住促進対策の推進（定住促進奨励金交付事業ほか1）					
実施地域	旭、海上、飯岡、千潟地域					
事業概要	圏域内への移住・定住促進事業を実施し、人口増加や人口減少の緩和に資することで圏域内の活力を高める。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	72,159	72,159	72,159	72,159	72,159	360,795
重要業績評価 指標（K P I）	転入世帯数 (定住促進奨励金 交付世帯)		基準値の年度		基準値	目標値 (R11 年度)
			R 5 年度		48 世帯	56 世帯

【地域間の役割分担に係る基本的な考え】	・ 旭地域 中心地域として圏域全体のPR及び都市機能の集積を生かした移住・定住促進活動を実施する。 ・ 海上、飯岡、干潟地域 各地域の資源や施設等の情報提供により、圏域全体の魅力アップを図る。
----------------------------	---



移住・定住促進

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化

(4) 都市機能強化

①中心都市機能強化及び賑わいの確保

旭駅周辺地区を圏域の広域的な中心商業・業務地として位置づけ、広域商業機能、行政機能、文化機能、都市型レジャー機能等の集積を推進し、中心都市機能の強化を図る。また、中心地域が有する既存の都市機能集積を生かし、地域間の適切な機能分担と、それらが連携する一体的な都市づくりを推進する

事業名	(2 2) 水産業の振興（飯岡漁港活用（海業推進））					
実施地域	飯岡地域					
事業概要	飯岡漁港について、海業としての地域活性化の取り組みを推進するため、旭市海業推進地域協議会を設置し、未活用の地域資源を活用するとともに、漁港を中心とした各産業の連携を図り、漁港周辺の賑わいを創出する。					
活用を想定する補助制度等	海業による地域活性化支援事業（県：1/2）					
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	合計
	4,959	4,959	4,959	4,959	4,959	24,795
重要業績評価 指標（K P I）	海匠漁業協同組合 所属船漁獲量		基準値の年度		基準値	目標値 （R 11 年度）
			R 5 年度		14,072 +	15,000+
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・ 旭、海上、干潟地域 漁港の有効活用や地域活性化の方向性・取組等を協議・検討し、圏域が連携、一体となり漁港の賑わいの創出及び漁業振興の発展に繋げる。 ・ 飯岡地域 飯岡漁港をにぎわい創出拠点とし、周辺の地域資源を活用することで地域の活性化を図る。圏域の連携を強化するため、旭市海業推進地域協議会を設置することで、漁港の有効活用や地域活性化の方向性・取組等を協議・検討し、漁港の賑わいの創出及び漁業振興の発展に繋げる。					

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化

(1) 人材育成・交流

①地域の達人を中心とする異業種間交流の推進

農業者、漁業者、商業者、工業者、伝統文化の継承者、学生等多様な異業種間の交流を積極的に促進し、地域教育・コミュニティの育成や連携を図る。

事業名	(2 3) 新たな地域産業の創出（異業種間交流の促進）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	異業種間交流を通じ新たな事業展開を促し、産業の振興と地域経済の活性化を図るため、旭市地域振興交流会など様々な講演会・交歓会を開催する。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	合計
	-	500	-	500	-	1,000
重 要 業 績 評 価 指 標（ K P I ）	地域振興交流会への 参加者数		基準値の年度		基準値	目標値 (R 1 1 年度)
			R 5 年度		52 人	300 人
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・旭地域 商業、工業、教育といった都市的機能の集積地として、講演会・交歓会の企画・運営を行い、圏域内の事業者、関係団体等に事業参加の働きかけを行う。 ・海上、飯岡、干潟地域 地域内の事業者等に情報提供を行い、事業参加を促すとともに積極的な交流を促進する。					

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化

(1) 人材育成・交流

②市民活動支援の拡充

既存の地域づくり市民団体への活動支援はもとより、さらなる市民活動の活性化を目指し、活動の場づくりや運営体制の検討・支援の拡充を促進する。

事業名	(2 4) 市民活動団体やN P O等の育成・支援 (市民まちづくり活動支援事業)					
実施地域	旭、海上、飯岡、千潟地域					
事業概要	市民の連帯感の醸成や元気で活力ある協働のまちづくりを促進することを目指す。市民自らの企画提案による創意と工夫あふれる公益活動に対し「市民まちづくり活動支援事業補助金」を交付する。また、市民まちづくり活動団体として、登録した団体へ活動を促進するための情報提供等を行う。					
活用を想定する補助制度等						
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	合計
	1,191	1,191	1,191	1,191	1,191	5,955
重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I)	市民まちづくり団体 登録者数		基準値の年度		基準値	目標値 (R 1 1 年度)
			R 5 年度		34 団体	37 団体
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・ 旭、海上、飯岡、千潟地域 「市民まちづくり活動支援事業補助金」の申請受付及び審査を行い、地域づくり市民団体の設立支援や活動支援を行うことで、参画・協働を推進する。					

事業名	(2 5) 生きがいづくりの推進 (老人クラブ(すこやかシニアクラブ旭)活動促進事業ほか2)					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	高齢者が生き生きと活動し、交流と活力の推進を図っていくため、生きがいと健康づくりに資する活動の場づくりを支援する。具体的には、老人クラブ(すこやかシニアクラブ旭)活動への支援、シルバー人材センターへ助成を行い、高齢者の能力活動や社会参加への援助、また、長きにわたり社会に貢献してきた高齢者を招待する敬老大会を開催する。					
活用を想定する補助制度等	高齢者地域福祉推進事業補助金(県:2/3)					
事業費 (千円)	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	合計
	14,789	14,789	14,789	14,789	14,789	73,945
重要業績評価 指標 (K P I)	老人クラブ・スポーツ 大会参加者数		基準値の年度		基準値	目標値 (R 1 1 年度)
			R 5 年度		298 人	440 人
【地域間の役割 分担に係る基本的な考 え】	・旭地域 事業拠点として、関係団体等と連携・協力し情報提供等に努めるとともに、組織の活性化及び事業の進行を図る。 ・海上、飯岡、干潟地域 情報収集や啓発に努め、拠点地域と連携し参加人数の増加を図る					



グラウンドゴルフ

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化

(1) 人材育成・交流

③視察、研修、交流等による能力育成

地域の課題に向き合い、その解決に向けた方法論を開発し、公共的な解決力及び調整力を有する人材を育成するために、他地域の視察、研修、次世代の若者との交流等を通じて知識・能力・モチベーションの向上を図る。

事業名	(2 6) 青少年健全育成の推進（青少年相談員連絡協議会活動の充実）					
実施地域	旭、海上、飯岡、干潟地域					
事業概要	青少年と真に一体となり、共に喜び、共に語り、共に行動することで、青少年健全育成活動の積極的な推進を図るため、旭市青少年相談員連絡協議会を設置する。体験学習や実践活動を通じて地域との関わりや世代間交流の促進を図り、社会性豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成する。					
活用を想定する補助制度等	青少年相談員活動費補助金（県：定額）					
事業費 （千円）	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	合計
	5,258	720	720	5,258	720	12,676
重要業績評価 指標（K P I）	青少年健全育成団体 主催事業への参加者数		基準値の年度		基準値	目標値 （R 1 1 年度）
			R 5 年度		557 人	600 人
【地域間の役割 分担に係る 基本的な考え】	・ 旭、海上、飯岡、干潟地域 社会教育施設を有効活用した体験学習や実践活動を通じて、社会性や豊かな人間性を持つ青少年の育成を図るとともに、子どもとのふれあいや関係団体との交流、研修会などを通じて、相談員としての資質向上を図る。					

6. 第3次共生ビジョン事業一覧

(視点) I. 生活機能の強化のための取り組み

政策分野	形成方針	事業 番号	事業名	地域名	事業費(千円)						国県 補助事業等
					R7	R8	R9	R10	R11	計	
(1)医療・福祉	①旭中央病院を核とした 地域医療・福祉の充実と 健康・安心のまちづくり	(1)	子育て世帯への経済的支援 (乳幼児紙おむつ給付事業ほか2)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	306,808	306,808	306,808	306,808	306,808	1,534,040	子ども医療費対策事業 補助金(県1/2)
		(2)	生涯活躍のまち・あさひ推進 (生涯活躍のまち推進事業)	旭地域	121,435	121,435	121,435	121,435	121,435	607,175	新しい地方経済・生活 環境創生交付金(第2 世代交付金)(国:1/2)
		(3)	地域医療機関との連携 (地域医療体制整備事業ほか2)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	31,955	31,955	31,955	31,955	31,955	159,775	国保調整交付金(直営 施設分)基準額の1/3
		(4)	地域包括ケアシステムの推進 (包括的・継続的マネジメント事業)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	84,107	84,107	84,107	84,107	84,107	420,535	国、県地域支援事業 交付金(国38.5/100、 県19.25/100)
(2)教育	①市民の地域学習支援	(5)	図書館及び関連施設の充実 (図書館活動費)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	52,636	52,636	52,636	52,636	52,636	263,180	
		(6)	青少年の健全育成の推進 (地域子ども教室事業)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719	8,595	
(3)産業振興	①地域資源の再評価と 観光振興	(7)	観光情報発信の推進 (観光資源創出プロモーション事業ほか1)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	35,941	29,930	29,930	29,930	29,930	155,661	
	②農水商工連携による 地域の特産品開発	(8)	新たな地域産業の創出 (特産品開発事業)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	6,800	
	③空き店舗利用などによる 中心市街地活性化	(9)	商業の振興 (空き店舗活用事業)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	21,221	21,221	21,221	21,221	21,221	106,105	
	④工業団地等への優良企業 誘致	(10)	企業誘致及び既存企業の支援 (事業者のデジタル化支援)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	6,103	5,652	7,104	6,175	2,904	27,938	新しい地方経済・生活 環境創生交付金(第2 世代交付金)(国:1/2)

(視点)Ⅱ. 結びつきやネットワークの強化のための取組

政策分野	形成方針	事業 番号	事業名	地域名	事業費(千円)						国県 補助事業等
					R7	R8	R9	R10	R11	計	
(1)地域公共交通・交通インフラ	①交通道路網の改善	(11)	主要道路の整備、国・県道の整備促進 (飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業ほか1)	海上、飯岡、 干潟地域	125,847	-	-	-	-	125,847	社会資本整備総合交付 金事業(国50/100)
	②公共交通ネットワークの 拡充	(12)	公共交通の確保 (コミュニティバス等運行事業ほか2)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	118,295	118,295	118,295	118,295	118,295	591,475	地域公共交通確保維持 事業(経費の1/2)※干 潟地区ルートが該当
(2)地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	①地場産品の地域内PR・販売	(13)	観光情報発信の推進 (道の駅季楽里あさひ管理費)	旭地域	745	745	745	745	745	3,725	
(3)地域内外の住民との交流・移住推進	①市内周縁部における交流事業の推進	(14)	文化財の保護 (大原幽学遺跡史跡公園の充実)	干潟地域	8,392	8,392	8,392	8,392	8,392	41,960	文化財保存事業(国 50/100以内、県 25/100以内)
		(15)	交流事業の推進 (幽学の里で米づくり交流事業)	干潟地域	800	800	800	800	800	4,000	
	②観光資源の編集	(16)	広報公聴活動の推進 (旭の魅力発信事業ほか1)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	36,366	36,366	36,366	36,366	36,366	181,830	
	③都市圏における販売・PRイベント、PR機能設置	再掲	観光情報発信の推進 (道の駅季楽里あさひ管理費)	旭地域	745	745	745	745	745	3,725	
	④地域内交流の促進、 コミュニティ力の育成	(17)	農畜産物の生産振興 (あさひオータムジャンボリー～産業まつり～)	旭地域	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	44,000	
		(18)	スポーツ活動の充実 (スポーツ振興事業)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	23,724	23,724	23,724	23,724	23,724	118,620	
		(19)	結婚・子育て環境の整備 (ファミリー・サポート・センター事業)	旭、海上、干 潟地域	6,090	6,090	6,090	6,090	6,090	30,450	子ども・子育て支援交 付金(国1/3、県1/3)
		(20)	結婚・子育て環境の整備 (育児支援事業)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	8,410	8,410	8,410	8,410	8,410	42,050	
		(21)	移住・定住促進対策の推進 (定住促進奨励金交付事業ほか1)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	72,159	72,159	72,159	72,159	72,159	360,795	
(4)都市機能強化	①中心都市機能強化及び賑わいの確保	(22)	水産業の振興 (飯岡漁港活用(海業推進))	飯岡地域	4,959	4,959	4,959	4,959	4,959	24,795	海業による地域活性化 支援事業(県:1/2)

(視点)Ⅲ.圏域マネジメント能力の強化のための取組											
政策分野	形成方針	事業 番号	事業名	地域名	事業費(千円)						国県 補助事業等
					R7	R8	R9	R10	R11	計	
(1)人材の育成・ 交流	①地域の達人を中心とする 異業種間交流の推進	(23)	新たな地域産業の創出 (異業種間交流の促進)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	-	500	-	500	-	1,000	
	②市民活動支援の拡充	(24)	市民活動団体やNPO等の育成・支援 (市民まちづくり活動支援事業)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	1,191	1,191	1,191	1,191	1,191	5,955	
		(25)	生きがいづくりの推進 (老人クラブ(すこやかシニアクラブ旭)活動促進 事業ほか2)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	14,789	14,789	14,789	14,789	14,789	73,945	高齢者地域福祉推進 事業補助金(県2/3)
	③視察、研修、交流等による 能力育成	(26)	青少年健全育成の推進 (青少年相談員連絡協議会活動の充実)	旭、海上、飯 岡、干潟地域	5,258	720	720	5,258	720	12,676	青少年相談員活動費 補助金(県:定額)

事業費(千円)							
		R7	R8	R9	R10	R11	計
視点	I.生活機能の強化のための取り組み	663,285	656,823	658,275	657,346	654,075	3,289,804
	II.結びつきやネットワークの強化のための取組	414,587	288,740	288,740	288,740	288,740	1,569,547
	III.圏域マネジメント能力の強化のための取組	21,238	17,200	16,700	21,738	16,700	93,576
合計		1,099,110	962,763	963,715	967,824	959,515	4,952,927

ALL LOVE ASAHI

